

環境家計簿普及事業 終了のお知らせ

2000年から始まり5年間続けてきた環境家計簿普及事業は、家庭での省エネを進める上で大きな効果がありました。しかし、コスト面など、この事業をとりまくさまざまな事情から、今年度でひと区切りとし、新たな活動へ転換することとなりました。今後は年間のエネルギー使用量のデータ収集は行いませんので、お知らせいたします。

これまで環境家計簿モニターとして、家庭の省エネをはじめ、地域で環境家計簿の普及に取り組んでくださった皆さん、また貴重なデータをご提供くださった皆さん、本当にありがとうございました。

2006年以降は、子どもから大人まで、より多くの皆さんに気軽に・楽しくエコライフに挑戦していただけるよう、親しみやすい企画を展開していきたいと考えています。

今後も「身近なところからはじめる環境に配慮した暮らし」の輪を広げるために活動して参りますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



想像力という筋肉をつけよう

小さいときから親や学校で教えられたまじめな方法では、判断できないことが世の中にはたくさんあります。「まちがった事を信じて戦争を始めた責任は認めるのに、戦争を始めたまちがいは認めないのか」「近所のスーパーでは売る前になんでもない箱入りのミカンをかごに入れかえてチェックしてくれるのに、なぜ危険な牛の部分の部分が正しくチェックされるかどうかをチェックしないのか」「『善良な』投資家と『善良でない』投資家はどこで区別されるのか」「温暖化によって2100年には永久凍土の9割が消滅することをスーパーコンピュータで予測できる国はなぜ京都議定書から抜けたのか」などなど。

「食事を抜いただけではだめです。ちゃんと筋肉をつけてください。」すみません、私のことです...が、言われてはっとするのです。そうだ、不可解なことにも、したり顔のテレビの論評さえ聞いていれば事足りると思うより、こっそり鍛え上げた想像力という筋肉で不可解な謎に立ち向かわなければなりません。子どもといっしょに『筋トレ』をしましょう。

それではダンベル...ではなくひとつ、変な本を紹介しましょう。K・スギヤマ作「ノードリッチ島 K・スギヤマ博士の動物図鑑」(絵本館、1991年)です。いかにも動物図鑑です。いや、動物図鑑より楽しい絵や解説文です。もちろん、現実の世界と照らし合わせて、あれこれ想像することもできますが、いっそのことウソを信じて、これらの変な動物たちが進化してきたトンデモナイ自然環境を調査してみましょうか。あるいはこの動物たちが発見されたときの「世紀の大発見」新聞でも作ってみましょうか。決して「K・スギヤマ博士って、作者は『杉山』さんなの？」などと、自分の発見したことを絶対口にしないことです。...いっちゃった！

